

ジェネリック医薬品を利用しましょう!

医療費の削減に役立つジェネリック医薬品。あなたがお医者さんからもらっている薬も、ジェネリック医薬品に切り替えられるかもしれません。

家計にやさしいジェネリック医薬品を賢く選択しましょう。

ジェネリック医薬品とは

同じ成分・同じ効き目で**安い薬**です

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、最初に作られた薬（先発医薬品：新薬）の特許が切れてから作られた薬です。厚生労働省により新薬と効き目や安全性などが同等と認められたものが生産されています。



開発コストがない分、**安い**のです

新しい薬を開発するには、年月もお金もかかります。ジェネリック医薬品は開発費がかかっていない分、安い価格にすることができるとのことです。



ずっと使われている薬なので、**あんしん**

ジェネリック医薬品のもととなる新薬は、特許が切れるまで、ずっと使われた薬です。ですから、安全性や効果は折り紙つきです。



新薬より**改良が進んでいる**場合もあります

ジェネリック医薬品によっては新薬とまったく同じではなく、飲みやすさや副作用を抑える工夫などの改良がさらに進んでいる場合もあります。



ジェネリック医薬品に変更するには

1 まず、処方せんを**チェック**しましょう

薬局で薬をもらうための処方せんに、医師の署名などがなければジェネリック医薬品に変更できません。

2 薬剤師に相談し、**説明**を受けましょう

ジェネリック医薬品の特徴や価格、変更した際の注意点など、しっかり説明を受けましょう。

☆糖尿病や高血圧症、脂質異常症のような、継続して服薬する慢性病の薬は、よりジェネリック医薬品に向いています。



3 薬を**選び**ましょう

薬剤師の説明を参考に、薬を選びましょう。原則としてジェネリック医薬品へ変更した場合は、薬剤師から医師に連絡が入ります。

☆日本ジェネリック医薬品学会のホームページではジェネリック医薬品の種類などを紹介しています。

<http://www.generic.gr.jp>



不安なときは**医師**や**薬剤師**に相談しましょう

ジェネリック医薬品の使用に不安がある場合は、医師や薬剤師に相談してみましょう。また実際に服用した場合も、効き始めるまで、また効果が続く時間に変化がないか、効き目は同じかなどに注意して、薬の変更前と異なるようでしたら、すぐに医師や薬剤師に相談しましょう。



●お試し切り替えも**可能**です

ジェネリック医薬品に変えるのが不安な場合は、お試し期間を設けることができます（分割調剤）。たとえば、4週間分の薬が処方されていたら、1週間分だけジェネリック医薬品にしてもらい服用して問題が出るかどうかで、残り3週間分の薬を選択できます。詳しくは薬剤師にご相談ください。

●留意しておいていただきたいこと

- すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。
- 薬代が下がっても、自己負担額が新薬の使用時とあまり変わらない場合もあります。
- ジェネリック医薬品を取り扱っていないか、取り寄せになることもあります。